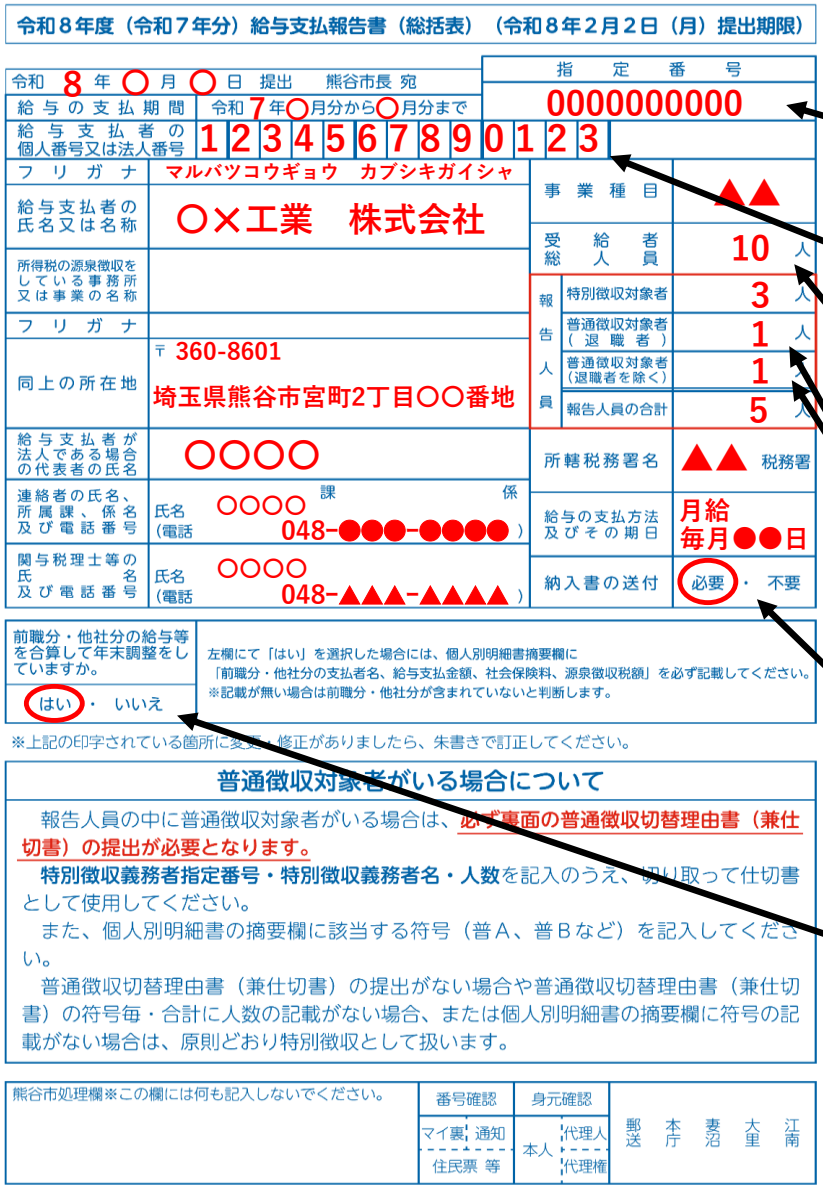
総括表記入例



令和８年度（令和７年分）給与支払報告書（総括表）（令和８年２月２日（月）提出期限）

令和 8 年 〇 月 〇 日 提出　熊谷市長 宛

指定番号：0000000000

給与の支払期間：令和 7 年〇月分から〇月分まで

給与支払者の個人番号又は法人番号：1 2 3 4 5 6 7 8 9 0 1 2 3

フリガナ	マルバツコウギョウ　カブシキガイシャ
給与支払者の氏名又は名称	〇×工業　株式会社
所得税の源泉徴収をしている事務所又は事業の名称	
フリガナ	
同上の所在地	〒 360-8601 埼玉県熊谷市宮町2丁目〇〇番地
給与支払者が法人である場合の代表者の氏名	〇〇〇〇
連絡者の氏名、所属課、係名及び電話番号	氏名 〇〇〇〇　課　係 （電話 048-●●●-●●●● ）
関与税理士等の氏名及び電話番号	氏名 〇〇〇〇 （電話 048-▲▲▲-▲▲▲▲ ）

事業種目	▲▲
受給者総人員	10 人
報告人員 特別徴収対象者	3 人
報告人員 普通徴収対象者（退職者）	1 人
報告人員 普通徴収対象者（退職者を除く）	1 人
報告人員の合計	5 人
所轄税務署名	▲▲ 税務署
給与の支払方法及びその期日	月給 毎月●●日
納入書の送付	必要 ・ 不要

前職分・他社分の給与等を合算して年末調整をしていますか。

はい ・ いいえ

左欄にて「はい」を選択した場合には、個人別明細書摘要欄に「前職分・他社分の支払者名、給与支払金額、社会保険料、源泉徴収税額」を必ず記載してください。
※記載が無い場合は前職分・他社分が含まれていないと判断します。

※上記の印字されている箇所に変更・修正がありましたら、朱書きで訂正してください。

普通徴収対象者がいる場合について

報告人員の中に普通徴収対象者がいる場合は、**必ず裏面の普通徴収切替理由書（兼仕切書）の提出が必要となります。**

特別徴収義務者指定番号・特別徴収義務者名・人数を記入のうえ、切り取って仕切書として使用してください。

また、個人別明細書の摘要欄に該当する符号（普Ａ、普Ｂなど）を記入してください。

普通徴収切替理由書（兼仕切書）の提出がない場合や普通徴収切替理由書（兼仕切書）の符号毎・合計に人数の記載がない場合、または個人別明細書の摘要欄に符号の記載がない場合は、原則どおり特別徴収として扱います。

熊谷市処理欄※この欄には何も記入しないでください。

番号確認	身元確認	
マイ 裏 通知 住民票 等	本人 代理人 代理権	郵送 本庁 妻沼 大里 江南

熊谷市提出用（裏面も御確認ください。）

既に指定番号をお持ちの場合は、記入してください。指定番号をお持ちでない場合は、空欄のまま提出してください。

給与支払者のマイナンバー（個人番号は右詰めで12桁、法人番号は13桁）を記入してください。

他市区町村も含め、給与を支給している人数を記入してください。

報告人員のうち、普通徴収（個人で納付）に該当する人数を記入してください。この場合は、「普通徴収切替理由書（兼仕切書）」を必ず添付してください。

納入書の要否について「必要」か「不要」のいずれかを〇で囲んでください。

他の支払者が支払った給与を合算して年末調整を行った場合は、「はい」を〇で囲んでください。

記載がない場合は、他社分が含まれていないものと判断します。

理由書記入例

熊谷市提出用

普通徴収切替理由書（兼仕切書）

市区町村名	熊谷市	特別徴収義務者指定番号	必須 0000000000
特別徴収義務者名	必須 ○×工業　株式会社		

符　号	普通徴収切替理由	人　数
普Ａ	総従業員数が２人以下 （下記「普Ｂ」～「普Ｆ」に該当する全ての(他市区町村分を含む)従業員数を差し引いた人数）	人
普Ｂ	他の事業所で特別徴収（乙欄該当者）	人
普Ｃ	給与が少なく税額が引けない（【例】年間の給与支払額が106万5千円以下）	1 人
普Ｄ	給与の支払が不定期（給与の支払が毎月でない）	人
普Ｅ	事業専従者（個人事業主のみ対象）	人
普Ｆ	退職者又は退職予定者（５月末日まで）及び休職者 （休職者は、４月１日現在で給与の支払を受けていない場合に限ります。）	1 人
合計（普Ａ～普Ｆの合計人数）		2 人

この普通徴収切替理由書の提出がない場合や上記の切替理由に該当しない場合は、原則特別徴収対象者となります。

次の項目をチェック☑して、最終確認をお願いします。

- 特別徴収義務者指定番号・特別徴収義務者名は記入しましたか？ ☑
- 個人別明細書の摘要欄に該当する符号（普Ａ、普Ｂなど）を記入しましたか？ ☑
- 退職者と併せて、令和８年４月１日現在で給与の支払のない休職者も普Ｆにしましたか？ ☑

既に指定番号をお持ちの場合は、記入してください。指定番号をお持ちでない場合は、空欄のまま提出してください。

特別徴収義務者名を記入してください。

普通徴収に該当する人数ごとに、内訳を記入してください。

普通徴収該当者の合計人数を記入してください。

左記の３項目に✔を入れて、最終確認をしてください。

普通徴収切替理由書（兼仕切書）の記入・提出について

・この普通徴収切替理由書は、当面、普通徴収を認める基準（普Ａ～普Ｆ）を示すものです。

・当面、普通徴収を認める基準に該当し、かつ、普通徴収を希望する方がいる場合は、該当する理由の右側「人数」欄に、人数を記入し、総括表及び個人別明細書と併せて提出してください。

・特別徴収に該当する方と普通徴収に該当する方がいる場合は、仕切書として普通徴収の方の個人別明細書の上に挿入し、総括表や個人別明細書と併せて提出してください。

・普Ａ～普Ｅのいずれか、かつ、普Ｆに該当する方がいる場合は、普Ｆに含めてください。
（例：給与の支払が不定期かつ退職者→普Ｆに該当）